

ちの市議会だより

CHINO CITY COUNCIL REPORT

2014年 10月21日 第11号

〒991-8501 長野県茅野市塚原二丁目6番1号 ☎0266-72-2101 FAX.0266-73-7936

発行 / 茅野市議会 編集 / 議会広報部会 印刷 / 株式会社 オノウエ印刷

茅野市議会

検索

<http://www.city.chino.lg.jp/>

目次

常任委員会報告	2
請願・陳情議決結果	6
議決結果・賛否一覧	7
一般質問通告一覧	8
行政視察報告	9
議会報告・意見交換会開催のお知らせ、編集室より	12

平成26年9月定例会（決算議会）

議会は市の予算が適正に使われているか審査をし、その効果を調べて評価をする重要な役割を担っています。9月議会は主に前年度の決算が審査・認定されるため、「決算議会」と呼ばれています。

平成25年度 茅野市の決算状況 一般会計及び特別会計 共に黒字決算

平成25年度茅野市一般会計決算

【歳入決算額】

300億
4,212万円

【歳出決算額】

290億
2,962万円

【実質収支額】

9億4,352万円

〔前年度に比べて、
62億7,860万円、26.4%の増〕

〔前年度に比べて、
62億5,587万円、27.5%の増〕

〔黒字決算〕

■歳入歳出決算額の増加理由

- ・市の財政リスクの解消と財政負担の平準化を図る目的として、解散した茅野市土地開発公社の債務代位弁済と、その財源として第三セクター等改革推進債53億300万円を借り入れたため。

平成25年度 茅野市のまちづくり

■主な事業（ハード面）

- ・宮川茅野地区土地区画整理事業、宮川保育園とわかば保育園の改築事業、高齢者福祉センター塩壺の湯「ゆうゆう館」の改築事業、橋梁長寿命化修繕事業の実施、蓼科湖遊歩道及び周辺整備事業

■主な事業（ソフト面）

- ・第2次からだ・こころ・すこやかプランの策定、第2次どんぐりプランの見直しと子ども・子育て支援事業計画の策定に着手

◇特別会計決算

特別会計名	収入	支出	差引
国民健康保険	60億3,863万円	56億943万円	4億2,920万円
後期高齢者医療	5億4,080万円	5億2,161万円	1,919万円
墓地事業	7,973万円	7,796万円	177万円

※万円未満を四捨五入しています。

◇企業会計決算

特別会計名	収益	費用	純利益
国民健康保険診療所	1億6,853万円	1億6,244万円	608万円
水道事業	12億5,371万円	11億671万円	1億2,231万円
下水道事業	22億463万円	19億7,648万円	2億1,355万円

※万円未満を四捨五入しています。

(決算額は、税込金額のため収支差引の純利益とは一致しません。)



平成26年8月21日「仮面の女神」が正式に国宝に指定されました。

9月定例会より

茅野市議会9月定例会は、8月27日(水)から9月24日(水)までの会期で開催されました。

補正予算や条例など28議案、諮問1件が審議され、いずれも原案のとおり承認、同意、可決、認定されました。

また、請願・陳情6件が審議され、採択3件、不採択2件、趣旨採択1件となりました。また意見書案は、3件が可決、1件は否決されました。各議案の一覧及び議決結果は、7から8ページをご覧ください。

また、審査経過及び結果は、常任委員会報告のページをご覧ください。

常任委員会報告

予算決算委員会

委員長 宮坂 武男

予算決算委員会に付託された案件は、補正予算4件、平成25年度各会計の歳入歳出決算の認定及び剰余金の処分についての10件。

議案第49号

平成26年度茅野市一般会計補正

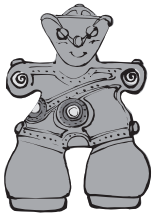
予算(第3号)について可決



この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億1766万8千円を追加し、258億4660万円とするもの。

主な歳出

- ・本年2月の大雪被害の検証から、新たに上川河川敷の1ヶ所を雪捨て場として整備することによる道路維持修繕事業費の1180万3千円の補正増。
- ・教育委員会及び学校関係者が、台湾の高雄市を視察訪問することによる中学生台湾交流事業費の329万7千円の補正増。
- ・スケートセンターの初心者リンクを使用可能とするための費用として、スケートセンター・ゴルフ練習場管理運営費の2551万円の増。



【主な質疑・討論】

中学生台湾交流事業について

質問

「参加者の個人負担が多い。子どもたちに平等、公平感、夢を持つてもらうために、個人負担について援助するための基金の設置等は考えられないか。」

回答

「子どもたちが実際に台湾の高雄市へ行くまでに時間があるので、今後検討したい。」

質問

「なぜ英語教育で台湾なのか。」

回答

「世界共通語と言われている英語を、台湾の子どもたちは聞き取り話せる力を持っているので、茅野市の子どもたちも英語という手段を使って対等の立場での交流ができるようにしたい。」

質問

「財政を切り詰めてやっている今、なぜこの事業を行うのか。」

回答

「国が英語教育を見直そうとしている。そういう中で、本当に生きた英語の交流ができるきっかけ

になると思っている。観光面で言うと、台湾の高雄市が長野県というより茅野市に対して熱い思いを持ってくれている。これからの観光のことを考えた時、インバウンドは大切である。特に台湾のお客さんは質が高いので、大切にしていこうということは、有効なことだと思ふ。そういう意味で、今だと判断している。」

質問

「中学校費に計上されている中学生台湾交流事業の担当がなぜ生涯学習課なのか。」

回答

「教育委員会を上げてこの事業に取り組む。今年は、教育委員会の総務という立場で生涯学習課が事務局として進めていく。」

【討論】

反対意見

「グローバル化や国際化、英語文化そのものが最も重要というような考え方に若干の違和感を持っている。また、観光、旅行誘致ということであれば、観光協会があるので、主体的に行政が係わるのはいかなものか。予算削減措置

の中で、これが市民の同意を得られるのかという疑問は常に頭の中にある。」

「この事業内容でこれだけの人数が行かなければいけないのか。事業内容を見直し、残ったお金を使って子どもたちの育成のためのお金に回すことができないか。事業の進め方、お金の使い方、体制等を見直すべき。」

「教育的な見地から、子どもたちの交流ということに公平性が担保できない。また、市民感情・要望からこれが妥当なのか。緊縮財政の中で、思いつきのような施策に賛成することができない。」

賛成意見

「小さな事業だが、これをきっかけに台湾と茅野市の中学校が修学旅行のような形で交流ができるようになり、それが一般市民にも広がるというようなことも考えられるので、こういう事を1つ1つ大事にして、より多くの子どもにそういった機会を与えて欲しい。」

「事業計画は以前から進んでおり、ここでこの事業が進まなくなると、台湾から見た日本の信頼が落ちると思う。しっかりとした計

画を立てて、事業を進めていただきたい。」

「海外に行くということは大変重要なことであり、多感な中学生の時にこのような経験をする事は素晴らしいことである。1つの事業が国際化に目を向けるきっかけになることがある。」

議案第50号

平成26年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について



この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ5964万5千円を追加し、60億5981万円とするもの。

主な歳出

・一般被保険者療養給付費負担金返還金等の補正増。

議案第51号

平成26年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

この議案は、歳入歳出



予算の総額に、歳入歳出それぞれ1888万3千円を追加し、5億9877万9千円とするもの。

主な歳出

・後期高齢者医療広域連合納付金の補正増。

議案第52号

平成26年度茅野市国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)について



この議案は、第2条として、業務の予定量を増加、第3条では、収益的収入及び支出の予定額をそれぞれ1385万7千円追加し、第4条では、資本的収入を3万円追加、資本的支出を83万8千円追加することにより、資本的収入額に対し不足する額を改めるもの。

その他給与費及びたな卸資産の購入限度額を改めるもの。

主な歳出

・本年10月から北山診療所を月曜日から金曜日に診療を行う「常設の診療所」として運営するために必要な関係経費の補正増。

総務環境委員会

委員長 堀 晃

総務環境委員会に付託された案件は、議案3件、請願1件、陳情2件。

議案第48号

茅野市非常勤消防団員に係る退職償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について



この議案は、消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正に伴い、茅野市もこれに準ずるためのもの。施行日は、公布の日。

議案第63号

茅野市デジタル防災行政無線整備工事の請負契約について



この議案は、昭和59年5月のアナログ防災行政無線開局以来、システムの老朽化が進み、今後の運用に支障が生ずることが懸念されるため、同無線局設備をデジタルシステムに移行し、システムの安定運用を図り、機能性、利便性を高め、市民生活の安全確保をするもの。

議案第64号

茅野市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例について



この議案は、平成26年8月10日執行の長野県知事選挙において、茅野市選挙管理委員会事務局職員の過失があったことについて、職員の出向を命じた理事者としての責任を明確にし、自らを律するため、平成26年10月1日から1か月間、市長及び副市長の給料月額を、10%減ずるもの。施行日は、平成26年10月1日。

請願3

国に対し、消費税率10%への増税中止を求める意見書提出を求める請願



採択の意見 「今の経済状況はアベノミクスの効果が波及して豊かになったとは言えない。収入が少ない人程リスクが大きく、諸手を挙げて賛成とはいえない。地方から請願の意見を上げていくことは大事である。」 「5%から8%への消費税増税

の際にも社会保障は切り捨てられている。年金も減っている。医療、介護にもいいことは無い。増税はそれらには充てられていない。」

不採択の意見

「安倍首相は7月から9月の経済の状況を見て判断するとしている。現在の8%のままでは、重点施策は維持できるが、待機児童等の問題など子供に対する支援策には対応できないものと思われる。提出者の説明にあったように、中小企業の倒産、失業者の増大、地域への打撃については理解できるが、国の政策を行うためには、消費税を上げざるを得ないのではないか。」

「財政健全化は日本の最重要課題である。高齢者医療費の増加、社会保障費は行きつくところまで行き、労働人口が減少していくことから、増税して社会保障費に充てて乗り越えていかなければならないので、増税はやむを得ない。」

陳情7

立憲主義を否定する「集団的自衛権行使」容認に反対する陳情書



採択の意見

「世論調査では反対が上回っている。憲法第9条を見ても外国で軍事行動をしてもいいとは書かれていない。集団的自衛権は言葉で言い繕っても憲法違反である。」 「外交努力をしないで、武装して身構えた場合、日本の平和国家の威信、信用はどうなるのか。時の政府によって最高法規の憲法解釈が変わるのはおかしい。憲法の三大柱である平和について勝手な解釈はありえない。」

不採択の意見

「閣議決定の内容は、国連の認める集団的自衛権ではなく、個別の自衛権の整備であった。我が国と密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し、これにより我が国の存立が脅かされ、国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険があることが要件に追加された。これはすぐに戦争に結び付くことではなく、戦争国家に突き進んでいるとは考えられない。これから法整備が進められるので、この陳情には反対する。」 「日本が法治国家であるからには、自国防衛は当たり前なことである。憲法9条では、他国のために海外で戦争をすることは許されていない。新3要件には、他国のために海外で戦争をするという解釈は見当たらない。自国を守るための個別自衛権を色濃く滲ませている。陳情には反対する。」

陳情11

地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の期限延長を求める意見書提出に関する陳情書



経済建設委員会

委員長 篠原 啓郎

経済建設委員会に付託された案件は、陳情1件。

陳情14

農業改革における慎重な議論と自己改革を基本とした支援を求める政府への働き掛けについて



趣旨採択の意見

「自己改革を基本とした支援を

求める」という点について、農業協同組合から自己改革案が示されていないため、どんな支援が必要か判断しかねる。また、「農業改革における慎重な議論」とは、何に對して慎重な議論を求めているのか、この陳情からは明確に読み取れない。」

「農業協同組合も自己改革をすと言っている。自己改革に努めていくという気持ちを尊重したい。今までの改革とは違うということこそを見せてもらえると期待する。」

福祉教育委員会

委員長 望月 克治

福祉教育委員会に付託された案件は、議案7件、陳情2件。

議案第38号

諏訪中央病院組合規約の一部変更について



この議案は、諏訪中央病院組合の介護老人保健施設やすらぎの丘に関する事務、諏訪中央病院看護専門学校に関する事務及び介護老人福祉施設ふれあいの里に関する事務に係る事業に地方公

営企業法の一部を適用するためのもの。

施行日は、平成27年4月1日。

議案第42号

茅野市特別職の職員等の給与に関する条例及び茅野市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例について



この議案は、母子及び寡婦福祉法の一部改正に伴い、関係規定を整備するためのもの。

施行日は、平成26年10月1日。

議案第43号

茅野市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例について



この議案は、母子及び寡婦福祉法及び中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部改正に伴い、関係規定を整備するためのもの。

施行日は、平成26年10月1日。

議案第44号

茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について



この議案は、子ども・子育て支援法の規定により、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めるもの。

施行日は、子ども・子育て支援法の施行日。

質問

「13条の中の『支給認定保護者に負担させることが適当と認められるもの』に、保育士給与は入るのか。」

回答

「保育士の給与は追加徴収には入らないと考えている。上乗せ・実費徴収は、英語教育など外国人講師をお願いした等の特別な場合で、保護者に説明をした上で、書面で承諾を得なければ徴収できないことになっている。」

質問

「3歳までの子どもを2階以上の部屋で保育することは心配なので、茅野市独自で3歳までは、2階以上の部屋は使用しないという

規制はできないか。」

回答

「国の基準を用いている。市でも検討をしたが、保育者を保育士の有資格者と規定することで、外からの事業者に対しての規制になる。」

議案第45号

茅野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例について



この議案は、子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律により改正される児童福祉法の規定により、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めるためのもの。

施行日は、子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行日。

質問

「基準の中に建物の耐震基準に

ついて触れられていないが、大丈夫か。」

回答

「福祉施設の基準に沿っている。避難訓練や職員の対応についての研修などを義務化して対応する。」

議案第46号

茅野市保育所条例の一部を改正する条例について可決

この議案は、子ども・



子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律による児童福祉法の改正に伴い、必要な改正をするもの。

施行日は、子ども・子育て支援法の施行日。

議案第47号

茅野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

この議案は、国民健康



保険法の一部改正に伴い、関係規定を整備するためもの。

施行日は、平成27年4月1日。

陳情12

35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情書

採択の意見

昨年と同様で、県で行っている取組に国も合わせてもらいたいとの内容なので良い。



陳情13

軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情

採択の意見

「労災認定基準を改正することにより、基準を不正に運用されては困るが、基準がなければ裁判でも困ると考える。東京都議会のように「不正防止」という文言を入れて基準を設けてくれと言うのがいいのではないか。」



「長野県の担当者の話でも不正が心配されている。現在国がデータを集めているところなので、「不正防止のため」ということを入れればいいのではないか。」

平成26年9月定例会 請願・陳情 議決結果

番号	表題	趣旨	提出者	採決結果	
				委員会	本会議
請願3	国に対し、消費税率10%への増税中止を求める意見書提出を求める請願	本年4月より消費税が8%となったが、これ以上の消費税増税は地域経済に大きな打撃を与える。消費税率10%への増税中止を求める。	諏訪地区労働組合連合会 諏訪地方民主商工会	不採択	不採択
陳情7	立憲主義を否定する「集团的自衛権行使」容認に反対する陳情書	安倍内閣は、「集团的自衛権行使」を容認しようとしているが、これは実質的に憲法9条を骨抜きにし、立憲主義を全面否定する行為であり認められない。	茅野市9条の会	不採択	不採択
陳情11	地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の期限延長を求める意見書提出に関する陳情書	地方公共団体は法に基づき昭和55年より地震対策の施設整備を進めてきた。今後も整備を必要とする事業は多く、また近年の大地震の教訓を踏まえ対策をより一層推進することが求められるため、地震財特法の平成26年度末期限の延長を要請する。	長野県地震対策強化地域連絡協議会	採択	採択
陳情12	35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情書	学校現場では課題の多様化がみられ支援を必要とする子どもが増加している。国の責任で「35人以下学級」が実施され、教職員増を盛り込んだ「新たな教職員定数改善計画案」が実施されることを求める。	長野県教職員組合 諏訪支部	採 択	採 択
陳情13	軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情	軽度外傷性脳損傷は、通常の検査では発症が見つけにくく、この病気を知らない人も多い。労災認定基準の改正や多くの市民へ周知を図ることを求める。	軽度外傷性脳損傷仲間の会	採 択	採 択
陳情14	農業改革における慎重な議論と自己改革を基本とした支援を求める政府への働き掛けについて	協同組合組織であるJAグループの組織・事業の変更などは、組合員の意思決定が基本である。農業協同組合法などの関連法案の検討にあたっては、農業協同組合が策定する自己改革案を尊重し、その実現を後押しすることを求める。	信州諏訪農業協同組合	趣 旨 採 択	趣 旨 採 択

9月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧(その1)

付託委員会 総務環境 経済建設 福祉教育 予算決算
 ○…賛成 ●…反対 退…退席 ※議長は採決には加わりません。

番 号	件 名	付託 委員会	議決 結果	北 沢 千 登 勢	伊 藤 玲 子	宮 坂 武 男	伊 藤 勝	篠 原 啓 郎	小 池 賢 保	望 月 克 治	小 松 一 平	樋 口 敏 之	堀 晃	勅 使 川 厚 す み	細 川 治 幸	野 沢 明 夫	両 角 昌 英	山 岸 正 衛	大 久 保 功 身	
37	平成26年度茅野市一般会計補正予算(第2号)の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	茅野市等公平委員会委員選任の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	茅野市教育委員会委員任命の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	茅野市監査委員選任の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	諏訪中央病院組合規約の一部変更について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	茅野市特別職の職員等の給与に関する条例及び茅野市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	茅野市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	茅野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	茅野市保育所条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	茅野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	茅野市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	平成26年度茅野市一般会計補正予算(第3号)について	予	可決	●	●	○	●	○	○	●	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○
50	平成26年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	平成26年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	平成26年度茅野市国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	平成25年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	平成25年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	平成25年度茅野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	平成25年度茅野市墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	平成25年度茅野市国民健康保険診療所特別会計決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	平成25年度茅野市水道事業決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	平成25年度茅野市下水道事業決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	平成25年度茅野市泉野大日影財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	平成25年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	平成25年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	茅野市デジタル防災行政無線整備工事の請負契約について	総	可決	○	○	○	退	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	茅野市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問	2 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報 告	9 専決処分の報告について																			
	10 債権放棄の報告について																			
	11 平成25年度健全化判断比率及び資金不足比率について																			
	12 株式会社ベルビアの経営状況について																			

9月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧(その2)

付託委員会 ○…賛成 ●…反対 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算
 ※議長は採決には加わりません。

番 号	件 名	付託 委員会	議決 結果	北 沢 千 登 勢	伊 藤 玲 子	宮 坂 武 男	伊 藤 勝	篠 原 啓 郎	小 池 賢 保	望 月 克 治	小 松 一 平	樋 口 敏 之	堀 晃	勅 使 川 原 は す み	細 川 治 幸	野 沢 明 夫	両 角 昌 英	山 岸 正 衛	大 久 保 功 身	
請 願 ・ 陳 情	3	国に対し、消費税率10%への増税中止を求める意見書提出を求める請願	総 不採択	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	7	立憲主義を否定する「集団的自衛権行使」容認に反対する陳情書	総 不採択	●	○	●	○	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●
	11	地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の期限延長を求める意見書提出に関する陳情書	総 採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情書	福 採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13	軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情	福 採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	農業改革における慎重な議論と自己改革を基本とした支援を求める政府への働き掛けについて	経 趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 員 提 出 議 案	-	議案第49号 平成26年度茅野市一般会計補正予算(第3号)に対する修正案	否決	○	○	●	○	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●
	9	「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の期限延長に関する意見書(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	軽度外傷性脳損傷(MTBI)の周知及び労災認定基準の改正などを求める意見書(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	社会保障と税の一体改革と消費税増税に対する意見書(案)	否決	○	○	●	○	●	○	○	○	●	●	○	●	●	○	●	●	●

議決日は、9月24日の議会最終日(但し、議案第37号、39号、40号、41号、諮問第2号は、8月27日の開会日に即決)

議場で行われる本会議 録画放送でご覧いただけます。

一般質問等の録画映像がホームページからご覧になれます。(質問日の一週間後からご覧いただけます。)実際の質問の様子、市側の答弁について、ぜひ動画でご覧ください。また、同ホームページ内の『会議録検索システム』により、会議録の閲覧もできますのでご利用ください。9月定例会の会議録は、11月末頃にシステムから閲覧できるようになります。

WEBで検索 茅野市議会 検索

茅野市の課題を問う!

平成26年9月定例会の一般質問は、9月8日、9日、10日の3日間行われ、15人の議員から29項目についての質問が市側に出されました。

9月定例会一般質問通告一覧

	件 名
両角昌英	1 観光と御柱祭について
	2 市の公園管理について
堀 晃	3 公共施設マネジメントの進め方について
	4 校庭・園庭の芝生化について
樋口敏之	5 マイナンバー制度への取組について
山岸正衛	6 茅野市減CO2計画について
	7 茅野市情報プラザについて
伊藤玲子	8 高齢者を豊かに支える社会の仕組みづくりや生きがい・社会参加への支援等の更なる充実について
	9 「(仮称)災害に強い支え合いのまちづくり条例」について
小松一平	10 茅野市民館の催し物について
	11 ひまわり作業所の改築について
大久保功身	12 市道4ブロック42号線(中央道側道)の整備について
	13 茅野市の工業系ものづくりについて
小池賢保	14 土砂災害対策について
	15 「横岳休暇村」など観光開発地の再生における茅野市の考え方について
勅使川原はすみ	16 大型バス・観光バス及びホテルの送迎バスの発着を駅西口とすることについて
	17 森林整備について
伊藤勝	18 バイパス倒壊の補助金について
	19 横岳休暇村再生について
宮坂武男	20 納涼花火大会の再開について
	21 縄文王国茅野の展開について
細川治幸	22 白樺湖・車山高原における観光施策について
	23 住宅リフォーム促進事業について
野沢明夫	24 職員派遣について
	25 子ども・子育て支援新制度への対応について
望月克治	26 来年度予算について
	27 自衛官の募集への市の対応について
篠原啓郎	28 当初予算額の削減と決算額について
	29 まちづくりと地域の活性化について

行政視察報告

市議会では、市政の発展と向上のため、常任委員会ごとに視察目的を定め、先進的な取組をしている自治体等を訪問し研修を受けています。

詳細は…

茅野市
ホームページ

茅野市議会

行政視察報告
からご覧ください。

総務環境委員会 視察

(参加者)

委員 堀 晃之	委員 樋口 敏	委員 伊藤 一平	委員 小松 幸治	委員 細川 吉保	委員 小平 尚宏	委員 樋口 明
副委員 長	副委員 長	副委員 長	副委員 長	副委員 長	副委員 長	副委員 長

総務部長 西田 隆
環境部長 山本 隆

実施日 7月2日(水)から
7月4日(金)まで

■大分県由布市 太陽光発電事業の規制条例について

平成26年1月に「由布市自然環境等と再生可能エネルギー発電設

備設置事業との調和に関する条例」を制定した。合併前の旧湯布院町が、平成2年に「潤いのあるまちづくり条例」を制定した際の経験を活かした。

太陽光発電を否定するものではなく、地域との調和を目指すもので、市民からは不安が解消されると好意的に受け止められている。

◎茅野市での取組は

八ヶ岳を中心とする景観は由布市の由布岳の比ではない。自然公園法、生活環境条例、景観条例等により一定の歯止めはかけられているが、太陽光発電は野放し状態である。傾斜地の土砂災害や自然環境・景観との調和を図る何らかの措置が必要である。由布市に「都市・景観推進課」があることは参考にしたいものである。

(注) 茅野市では9月5日、「茅野市再生可能エネルギー発電設備の設置等に係るガイドライン」を制定公布した。

■大分県豊後高田市 定住・移住促進事業について

昭和25年に5万人であった人口

が平成17年の合併時には2万5千人強、そして現在は2万3千人を割り込んだ。人口減に危機感を持った豊後高田市は、定住者を増やすことを最重要施策として取り組み成果を挙げてきた。

取組は多岐に渡りすべての施策が定住者を増やすことへ連結させている。

空き家バンク制度・定住促進空き家活用・新婚さん応援住宅・田舎暮らしの奨励・就労支援・就業支援・移住者懇話会・住宅団地造成・婚活・学びの21世紀塾・その他乳幼児保育、学校、医療などなどの施策が講じられている。「移住支援サイト」が充実している。

市長が先頭に立ち、全幅の信頼を置く女性課長が長年にわたり奮闘していることにカギがありそうだ。

◎茅野市での活用の可能性

まちづくりの柱として人口減対策としての「移住施策」をあらゆる面から手を打っている。その担当課の名は「地域活力創造課」、民間に委託ではなくすべて行政が主導している。当市では人口減に対する危機感豊後高田市ほどない

ような気がする。学ぶべきことは多い。大いに参考にしたいものがある。



豊後高田市 視察

■佐賀県佐賀市 地域防災計画について

私たちが訪れた前日は局地的な大雨により大洪水にあった。お見舞い申し上げます。

災害時要援護者支援について、庁内における連携、庁外における連携、社会福祉協議会との連携が取れるようになってきている。

特に、庁外の連携においては、
①災害時要支援者避難支援連絡会議

②福祉避難所・福祉避難施設

③福祉関係大学

などが組み込まれている。

広報紙やホームページで制度説明や登録方法を周知させ、高齢者実態調査、障がい者には要支援者制度の説明や登録申請書の配布を行っている。

◎茅野市での展開は

人口規模や地形においてかなりの差はあるものの大いに参考になった。

①要支援者への対応や防災意識の向上など自主防災組織への啓発が必要である。

②仕組みづくりは終わりでないかに機能させるかが大切であり後方支援は欠かせない。

③要支援者の受け入れ施設及び避難所のリストの作成と、対応マニュアルが必要である。

④防災訓練では、各区自治会で要支援者支援を取り入れることが重要である。

経済建設委員会 視察

(参加者)

委員長	篠原 啓郎
副委員長	山岸 正衛
委員	北澤 千登勢
委員	宮坂 武男
委員	勅使川原 はすみ
委員	五味 喜和
産業経済部長	田中 美和
議会議務局	

実施日 7月22日(火)から
7月24日(木)まで

■富山県富山市 「コンパクトシティ構想」 について

市の規模に差があってもまちづくりの考え方は同じであるとの観点で視察研修に臨んだ。

富山市は茅野市に比べ面積で4.7倍、人口は7.5倍と大きな差があるが人口密度から見ると1.6倍となっていて居住地が点在していることがうかがえる。

中心市街地と点在する居住地を結ぶ幹線道路や居住地の集約化(団子の串刺しをイメージ)に向けた補助事業を進め、市の更なる活性化(コンパクトシティ)を目指し公共交通に取り組んでいた。

茅野市は人口減少が進む中で5万5千の市民が90を超える区や自

治会を構成し、その居住地が扇状に点在していて公共交通の取組はさらに難しさを増している。
観光路線と市民路線の複合型いわゆるハイブリッド路線の復活など工夫が必要だ。



富山市 視察

■石川県輪島市 「街なみ環境整備事業」 について

輪島市は、古くから葉や漆塗りの産業が盛んで、個性ある街並みが多く、市ではこの個性を生かす整備事業を進めている。

平成19年の能登半島地震で壊滅的な打撃を受けたが、当初の計画

を変更することなく進め、活性化の土台作り支援に加えて、市の計画に足並みを揃えた取組や相乗効果の高い取組に対し積極的に支援を行っていた。

「本町・朝市通り整備事業」について

朝市で有名な本町・朝市通りの活性化整備は人の集まる場所に更に人が集まる工夫を重ね、土地と時間の分割利用で年間を通じて営業ができるようにしたことが結果を生み、現在に至っては朝市がない日は旅館が空いていると言われるほどの経済効果を担っている。

「中心市街地活性化の取組」について

行政が方針を明確に示し、市民がその方針に答える形でまちづくりが進んでいた。

茅野市も街中整備計画を進めていて、整備においては引けを取らない。

あえて付け加えるならば、整備計画と活性化計画が同時進行している事が重要と考える。

■富山県黒部市

「地域材の活用推進事業」 について

黒部市は山林の広さを活用して、地域材（杉）の活用推進事業（市内木材）として、路網の整備や間伐を進めているが切り出した材の産地管理が課題であるとのこと。

「宮野用水発電所」につ いて

豊富な水資源を利用した水力発電は、農業用水路として敷設した管を利用し、「慣行水利権」に従属する形で水利権を確保し、施設設置費や管理費を低く抑える方法を取り入れ、売電事業を行っていた。

「鳥獣被害防止計画」に ついて

鳥獣被害はイノシシ、サル、カラスの被害が多く、特にサルとの攻防戦が続いている。

イノシシ、サルの被害防止は電気柵、狩猟に加え罠免許を保有する地域住民との連携対策を進めている。

■北陸新幹線開業前の活気

来春開業となる北陸新幹線の黒部宇奈月温泉駅の新設が進んでいて、活気を感じた。

茅野市は「仮面の女神」が国宝に答申（8月指定）され、活気の種が芽を出した。

先輩国宝「縄文のビーナス」の経緯を参考にし、ロマンに満ちた縄文構想を基軸に、出土した地域を巻き込んで、活性化の一役を担う国宝に育てる計画が必要と考える。

視察研修を通じて、経済建設委員会としては経済効果を直視した取組が重要であると感じた。

福祉教育委員会 視察

委員長	望月角	治英子
副委員長	長岡伊小	克昌玲
委員	野大久	保夫明
	林小田	功孝司
	小田島	太一

（参加者）
局長 健康福祉部 事務局長
健康福祉部 事務局長

実施日 7月1日（火）から
7月3日（木）まで

■北海道東川町 幼保一元化事業について

こども・子育て支援新法への対応として茅野市は保育園を幼保連

携認定こども園への移行することを検討しています。幼保一元化の先進事例を見て手法を学び、子育て支援に活かす目的で東川町を視察いたしました。

こどもの利用状況に合わせた保育士の対応や情報の共有が重要なことが分かりました。子ども支援センターの活動は重要ですが、各園での対応では難しく全市の取り組みを取り組むことが必要だと感じました。



東川町 東川幼児センター
ももんがの家

■北海道三笠市 小中一貫教育について

茅野市ではこども部を創設して保小、小中連携を進めています。特区として小中一貫教育を進める

先進地を視察し茅野市への可能性を探りました。

通学区などの面で併設型は難しいと考えられる当市においては連携型に向かうと考えられ、地域の繋がりを活かした教育プログラムや、三笠市の歴史や文化・産業を系統的に学ぶ「地域科」は当市が進める「縄文科」の枠を広げた取組で、取り入れるべき点を多数学びとれました。

■北海道札幌市

NPO法人札幌市福祉支援センター 未就労者就労支援について

来年度から全国で生活困窮者自立支援制度が始まります。今議会でも補正予算を組み、当市でも準備が進められます。そうした取組をしているNPO法人を視察して手法を学びました。

自信を失い社会から離れている方の相談に乗り、時間をかけて丁寧に支援がなされていました。社会復帰を目的として民間の様々な体験プログラムが利用されており、自治体が窓口となり、NPOに委託し双方協力して総合的に支援をする形が整っていました。

議会報告・意見交換会開催のお知らせ

市民の皆さんに議会活動の状況を報告するとともに、市民の皆さんから直接ご意見をお伺いする場として、議会報告・意見交換会を開催します。

どの会場にも自由にご参加いただけますので、多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

■開催内容

【第1部】議会報告

- ・議会の役割について
- ・9月定例会で審議した主な議案について

【第2部】意見交換

- ・市政や議会に関する市民と議員との意見交換



■開催日時等

日 時	場 所	出席議員
11月25日(火) 午後7時～ ※受付：午後6時30分～	泉野地区コミュニティセンター	小平吉保、北沢千登勢、伊藤玲子 伊藤勝、小松一平、堀晃 野沢明夫、両角昌英、山岸正衛
	金沢地区コミュニティセンター	大久保功身、宮坂武男、篠原啓郎 小池賢保、望月克治、樋口敏之 勅使川原はすみ、細川治幸
11月26日(水) 午後7時～ ※受付：午後6時30分～	湖東地区コミュニティセンター	小平吉保、北沢千登勢、伊藤玲子 伊藤勝、小松一平、堀晃 野沢明夫、両角昌英、山岸正衛
	中大塩地区コミュニティセンター	大久保功身、宮坂武男、篠原啓郎 小池賢保、望月克治、樋口敏之 勅使川原はすみ、細川治幸

■問い合わせ先

茅野市議会事務局 TEL：72-2101(内351・352) / FAX：73-7936
E-mail：gikai@city.chino.lg.jp

編集室より

8月21日茅野市が誇る縄文時代の土偶仮面の女神が見事国宝に指定されました。市民の皆様とともに喜びたいと思います。

さて、今年は2月の大雪に始まり、南木曾町や広島において、集中豪雨による多くの犠牲者を伴った土砂災害が発生しております。地球がおかしくなつてきていると思わざるを得ません。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。幸い茅野市は大きな災害もなく推移してきていますが、この異常気象の中では何時何処でどのような災害が起こるが分かりません。

まず、自分の命を守るには、何を備えどう行動したら良いか、普段から考えておくことが重要であると考えます。

茅野市議会では、開かれた議会と市民に寄り添う議会を目指して、今年2月から10地区での「議会報告・意見交換会」を開催しております。多くの市民の皆様のご意見を賜りますようお願い申し上げます。



国宝「土偶」(仮面の女神)

議会広報部会 小松 一平